

「竹芝地区まちづくり協議会」

設 立 趣 意 書

竹芝地区は、日本のビジネス拠点である大手町・丸の内・有楽町地区、国内外を結ぶ交通の結節点である浜松町地区・品川地区など、国際競争力の高い地区に近接した、利便性の高い立地条件を備えています。また、地区内には旧芝離宮恩賜庭園、四季劇場があり、周辺には芝増上寺、東京タワー、浜離宮恩賜庭園のように、歴史的資源や観光資源にあふれています。さらには伊豆・小笠原諸島への玄関口であるふ頭を持ち、歴史、自然、国際性を兼ね備えた生活・ビジネス・観光拠点としての可能性を秘めています。

一方で東日本大震災以降、地区レベルでの防災・減災対応の必要性が高まるとともに、まちが持続的に発展するために、多種多様な情勢に対処していく地区のより強いネットワークが求められています。

そこで、この度、東京都公文書館、東京都計量検定所、都立産業貿易センター等の跡地を活用した再開発をきっかけとし、官民が連携し、地区の関係者が自ら具体的なまちづくりを考え、活動していくための協議会を設立したいと考えます。

協議会は、竹芝地区で人と歴史と自然が調和する新しい都市空間の形成を実現し、竹芝地区を魅力的なまちにするために、提言し、活動して参ります。

2014年6月19日